

「第 14 回 IEEE 関西支部 学生研究奨励賞」申込書  
(提出締め切り：2017 年 10 月 5 日まで)

(ふりがな)

応募者氏名： (生年月日： 年 月 日生)

所属 (学校、学科、専攻名等)：

学 年： 大学院博士後期 ・ 大学院博士前期 ・ 学部 ・ 高専 \_\_\_\_\_年

連絡先住所・氏名：

〒

TEL：

FAX：

E-mail：

IEEE 会員番号：

◎論文

題 名：

著 者：

論文誌等の名称：

巻号・ページ等：

発表日もしくは掲載時期：

論文が該当する Society (例えば主催 Society)：

◎論文要旨 (邦文 500 字程度) (分野外の審査委員にも論文の良さがわかるように記載ください)

◎論文が掲載されたジャーナル、発表した国際会議の難易度に関する情報 (当該専門分野におけるジャーナル、国際会議の位置付けを簡単に説明してください。また、論文採択率、h5-index(JC)(Google Scholar)等の定量的な情報をわかる範囲で記載してください)

## 指導教員推薦書

以下の(1)～(3)に回答ください。

- (1) 研究課題とアイデアについて学生の貢献度について、該当項目に○をつけてください。
- ( ) 学生自身が研究課題およびアイデアを出した。
  - ( ) 研究課題は教員が出したが、アイデアは学生が提案した。
  - ( ) 研究課題，基本的なアイデアは教員が指導したが，学生がそれを改善した。
  - ( ) 研究課題，基本的なアイデアは教員/共著者等が出し，学生はそれを実現させた。
  - ( ) その他（記載ください： \_\_\_\_\_ )
- (2) 研究を進める上での実施内容について、該当項目に○をつけてください。
- ( ) 学生が従来 of 理論検討，評価手段（シミュレーションプログラムや実験装置等）を先行研究より引き継ぎ行った。
  - ( ) 学生が新たに理論構築を行ったが，評価手段（シミュレーションプログラムや実験装置等）を先行研究より引き継ぎ行った。
  - ( ) 学生自身が斬新な理論構築を行い，その妥当性評価もシミュレーションや実験で明らかにした。
  - ( ) 主に評価部分（シミュレーションプログラムや実験装置等の開発，実験実施等）の詳細化や手法の試作・実現等，実用・実践的な内容を実施した。
  - ( ) その他（記載ください： \_\_\_\_\_ )
- (3) その他，(1)，(2)以外で積極的に評価すべき点，学生の特筆すべき所見等記載ください（最大 500 字）

指導教員（卒業された方は投稿時の指導教員がご記入下さい）

氏名：

所属：

電子メールアドレス：

TEL：

FAX：

署名欄： \_\_\_\_\_